

「小児有熱性尿路感染症患者に対する治療プロトコルの開発」

研究協力をお願い

小児科では「小児有熱性尿路感染症患者に対する治療プロトコルの開発」という研究を中央倫理委員会の承認及び院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。

皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問等は下記の問い合わせ先へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 研究の対象

2016年4月1日から2022年3月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院小児科で尿路感染症のため入院し治療を受けられた患者さんのうち、初診時7歳未満の患者さん。

2. 研究の目的

小児の発熱を伴う尿路感染症に対する治療方針は、一定の方針が示されているものの未だ施設により様々で、諸外国と比較しても日本は入院期間や点滴による治療が長期にわたる傾向があります。適切な医療を行うために、当院で入院治療を受けた患者様のデータを調査し、より適切な治療方針の確立を目指します。

3. 研究の方法

日本医科大学付属病院 小児科を研究代表機関とする多機関共同研究になり、研究代表者は日本医科大学付属病院 小児科 柳原剛、研究事務局は日本医科大学付属病院 小児科 田辺雄次郎になります。他の参加研究機関は日本医科大学武蔵小杉病院（研究代表者：楊井瑛美）になります。

2016年4月1日から2022年3月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院小児科にて、入院のうえ尿路感染症の治療を受けられた患者さんのカルテ情報を解析し、当院の治療方針に則った治療の結果、患者様がどのような経過を辿っているかについての検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から2023年12月31日までです。

本研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、血液・尿検査データ、治療期間、再発の有無等

この研究に関するデータは、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、各研究機関のインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータ（PC）に保管します。

日本医科大学武蔵小杉病院で得られた情報は日本医科大学付属病院に研究分担者によって移送されます。日本医科大学付属病院に移送された情報は、日本医科大学付属病院小児科の柳原剛が医局のインターネットに接続されていないパスワードのかかったPCに保管し、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報速やかに廃棄いたします。また、研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学武蔵小杉病院 小児科 助教医員 楊井 瑛美

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-383

電話番号：044-733-5181（代表）

メールアドレス：emi-n@nms.ac.jp